

《担当者名》○花岡 真佐子(非) [hanaoka@hoku-i-ryo-u.ac.jp]
 明野 伸次 [akeno@hoku-i-ryo-u.ac.jp]

【概要】

授業は教師・学習者・教材(学習内容)の3つの要素から構成され、これらの要素の相互作用によって成立する。その際、教材・学習内容・教師・学習者のあり方から様々な課題が存在する。

本講では、教育とは「人間に対する目的意識的な人間形成の働きかけ」を前提に、看護基礎教育における授業づくり(講義・演習・臨地実習)の基礎的な考え方を探究する。

【学修目標】

1. 現代における看護基礎教育の課題を説明できる。
2. 授業づくりにおける教材の解釈、学習形態、授業展開の概要を説明できる。
3. 自己学習能力を育む授業づくりの現状と課題を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	0. 授業のすすめ方 1. 看護教育制度の変遷(1)	ゼミナール形式で文献講読とディスカッションで進める。 第二次大戦後の看護教育制度の歴史的変遷の概要を知る。 1) GHQによる制度改革の推進 2) 昭和時代の「看護師の教育課程」	花岡 明野
3) 4	1. 看護教育制度の変遷(2)	1) 看護学の大系化をめざす教育課程(平成時代) 2) 現代における看護基礎教育の課題	花岡 明野
5) 6	2. 授業方法の基礎(1)	『新しい時代の教職入門』の第2章「授業をつくる p21~47」を講読し、授業の目的、内容・教材、方法、評価の関連性を考える。	花岡 明野
7) 8	2. 授業方法の基礎(2)	『新しい時代の教職入門』の第3章「授業から学ぶ p49~69」を講読し、授業評価の目的、対象、基準、方法、信頼性を考える。	花岡 明野
9) 10	2. 授業方法の基礎(3)	『新しい時代の教職入門』の第4章「カリキュラムをデザインする p71~83」を講読し、授業の構成、教材の具体性、発問の設定、話し合いの組織化、学習の広がり考える。	花岡 明野
11) 12	3. 自己学習能力を育てる授業(1)	波多野 誼余夫編『自己学習能力を育てる』の第二部「自己学習における動機づけ」を読み解く。	花岡 明野
13) 14	3. 自己学習能力を育てる授業(2)	波多野 誼余夫編『自己学習能力を育てる』の第三部「自己学習に能力を育てる」を読み解く。	花岡 明野
15	3. 自己学習能力を育てる授業(3)	文献に学ぶ「看護学教育制度の課題」	花岡 明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション(30%)、準備・参加状況(30%)、課題レポート(40%)

【教科書】

- 1) グレック美鈴・池西悦子編『看護教育学 - 看護を学ぶ自分と向き合う - 』南江堂,2018. (2500円)
- 2) 波多野誼余夫編『自己学習能力を育てる - 学校の新しい役割 - 』東京大学出版会,1980. (980円)
- 3) 稲垣佳世子・波多野誼余夫『人はいかに学ぶか』中公新書,1989. (720円)
- 4) 秋田喜代美・佐藤学編著『新しい時代の教職入門(改訂版)』有斐閣アルマ、2006. (1900円)

【参考書】

- 1) 田中耕治編『よくわかる授業論』ミネルヴァ書房、2007. (2600円)
- 2) 藤岡完治・堀喜久子編『看護教育の方法』医学書院,2002. (絶版)

【学修の準備】

関連する参考文献を熟読し、授業に臨む。